

沿道住民の立場からみたサービスエリアの新しい活用策について

大阪大学工学部 正員 新田保次
 大阪大学大学院 学生員 近藤政弘
 大阪大学工学部 学生員 ○前川昌弘

1. はじめに

高速道路沿道の整備は今までの防音壁や緑地帯の設置といったものに加えて、この度の道路法の改正により、高速道路と沿道を一体的に整備する事が可能となった。その例としてサービスエリアのオープン化構想が進められている。このようなサービスエリアの整備を沿道住民の沿道住民の文化的・社会的な生活環境を高めるために活用できないかを考えてみる。そこで、高速道路沿道の住民に対してアンケート調査を実施し、高速道路から受ける影響やオープン化への賛否意識を明らかにすることを目的とした。

2. 調査の概要

本研究で調査の対象としたのは、図-1に示す中国自動車道沿道の加西市・滝野町・社町の4小学校児童の保護者である。1989年11月1日～7日に各小学校毎に調査票を配布・回収した。全体の有効回収率は80.0%であった。

3. 沿道住民の受ける影響について

高速道路沿道では、インターチェンジ近傍などの一部を除いて高速道路から隔離された状態にある。沿道住民が受ける影響のうち、地区分断についてみると、図-2のように中国自動車道によって地区分断を感じている人（「地域のまとまりが減少した」または「地域内の移動が不便になった」と感じた人）は平均16.2%であるが、高速道路からの距離が500m以内の区域では約2倍の28.9%となり、高速道路近傍部における影響が大きい。また、地区が南北に分断されている富田地区でこの割合が高くなっている。このような沿道住民の文化的・社会的な生活環境の悪化を、高速道路と沿道が一体となった地域整備によってカバーする必要がある。

4. オープン化への賛否とその要因

サービスエリアのオープン化は、高速道路と沿道地域の交流を促し、高速道路のイメージを高めるとともに、高速道路事業者・沿道自治体にとってもプラスの効果が期待できる



図-1 調査対象小学校区

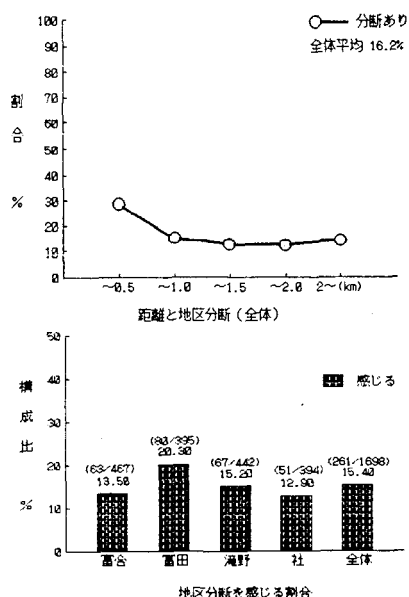


図-2 地区分断を感じる割合

Yasutsugu NITTA, Masahiro KONDO, Masahiro MAEKAWA

と思われる。図-3のように、サービスエリアのオープン化に対し、「賛成」「どちらかといえば賛成」を併せた「賛成派」が約6割を占めている。また、駐車場をオープン化した時、沿道住民のための駐車場を新たに整備するという考えに対してもほぼ同様である。特に富田地区は加西サービスエリアに近いので「賛成派」の割合が高くなっている。次に、オープン化の賛否に影響を与えている要因を探るために数量化Ⅱ類分析を行なった。説明変数として個人属性・中国自動車道による変化17項目をとり、賛否に影響を及ぼす主な要因(偏相関係数0.1以上)を探ると図-4のように「中国道利用目的」「職業」「生活の豊かさ」の順であった。ここから、オープン化に賛成的であるのは、「観光・レジャーで中国自動車道を利用する主婦層で、今後の生活が豊かになることを期待している」という人間像がうかがえる。

5. 住民の希望施設

サービスエリアがオープン化された場合に設置してほしい施設としては、図-5に示すようにレクリエーション施設、医療・保健施設、スポーツ施設や文化施設などが多い。地区別では、総合公園やスポーツ施設を利用しづらい富合・富田地区はスポーツ、レクリエーション施設の、医療施設が少ない滝野地区では医療施設の希望が高くなっており、各地区で少ない、あるいは整備が進んでいない施設に対する希望が高いことがわかる。

6. まとめ

サービスエリアのオープン化や施設整備に対しては、沿道住民の賛成率や要望が高いので、沿道住民の生活環境の悪化をカバーする方法としては有効な方法であると思われる。但し、サービスエリア内に新たな施設を設けるためには法律的な問題などがあるため、今後の関係機関の協議が必要となるであろう。

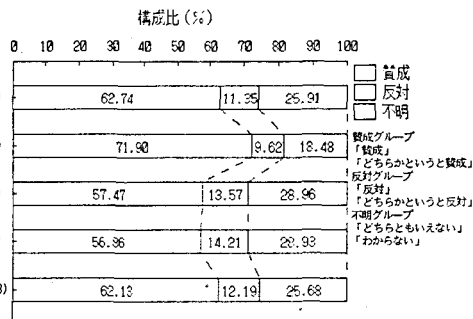


図-3 サービスエリアオープン化への賛否

1. 遠くへ行くのに便利になった	19. 大都市へ行きやすくなり、文化にふれる機会が増えた
2. 買物が便利になった	11. 大都市の文化・流行・情報が入るようになった
3. 通学・通学が便利になった	12. 地域と大都市の文化交流が活発になった
4. 仕事(商用)で動きやすくなった	13. 所の知名度が上がった
5. 大きな病院に行きやすくなった	14. 観光客・外来者が増えて、町のよさが失われた
6. 生活が豊かになった	15. 地域内の交通量が増えた
7. 地域が発展した	16. 騒音・排気ガスがひどくなった
8. 地域が分断され、まとまりが減少した	17. 交通事故の不安が増加した
9. 地域内の移動が不便になった	



相関係数: 0.434 サンプル数: 494

図-4 中国道による変化17項目とオープン化の賛否要因

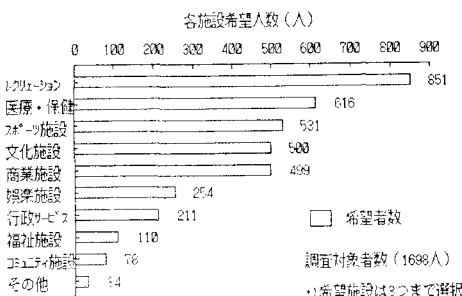


図-5 オープン化の際に希望する施設